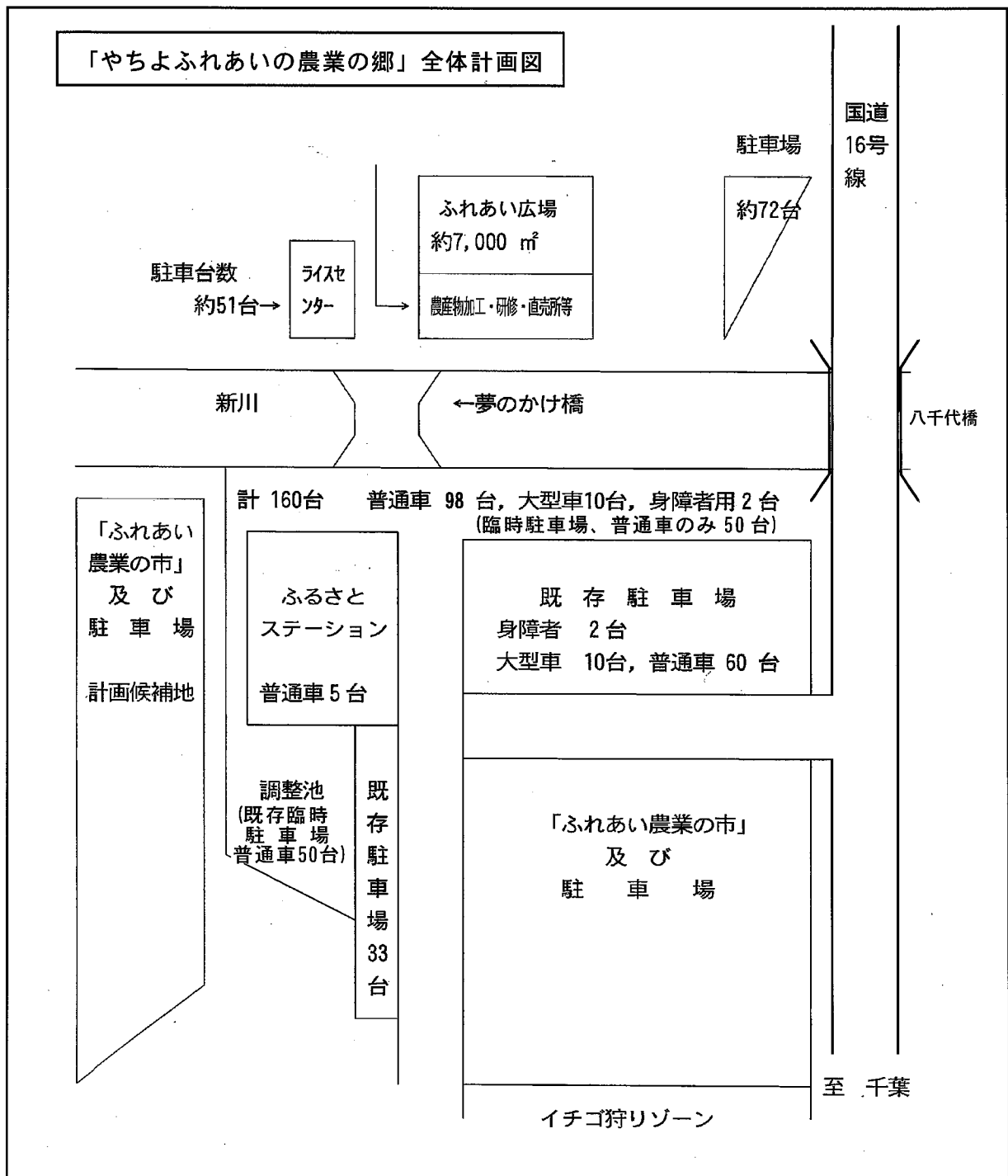


7. 施設の概略設計

「やちよふれあいの農業の郷」構想における島田地区及び米本地区の施設について概略の設計を行い、概算工事費を算出する。下に島田地区及び米本地区全体の計画図（イメージ図）を示す。



7-1. 中核施設区域における施設配置(案)

島田地区の中核施設用地に計画する施設は、以下に示す4案のうち第1案を基本とするが、財政等の状況により他の案についても概略の計画を行い、各案ごとに概算工事費を算出する。

第1案：建築面積 1,390 m²、延べ床面積 1,500 m²

- ①農産物加工所 (200m²)
- ②農産物直売所 (200m²)
- ③管理室 (70m²)
- ④トイレ (70m²×2ヶ所)
- ⑤貸し自転車場 (180m²)
- ⑥販売ブース (200m²)
- ⑦研修室・会議室・ピロティ等 (200m²)
- ⑧情報・展望コーナー (310m²)

第2案：建築・延べ床面積 984 m²

- ①農産物加工所・研修室 (216m²)
- ②農産物直売所 (216m²)
- ③管理室 (72m²)
- ④トイレ (72m²)
- ⑤貸し自転車場 (192m²)
- ⑥販売ブース (216m²)

第3案：建築・延べ床面積 720 m²

- ①農産物加工所・研修室 (200m²)
- ②農産物直売所 (200m²)
- ③管理室 (70m²)
- ④トイレ (70m²)
- ⑤貸し自転車場 (180m²)

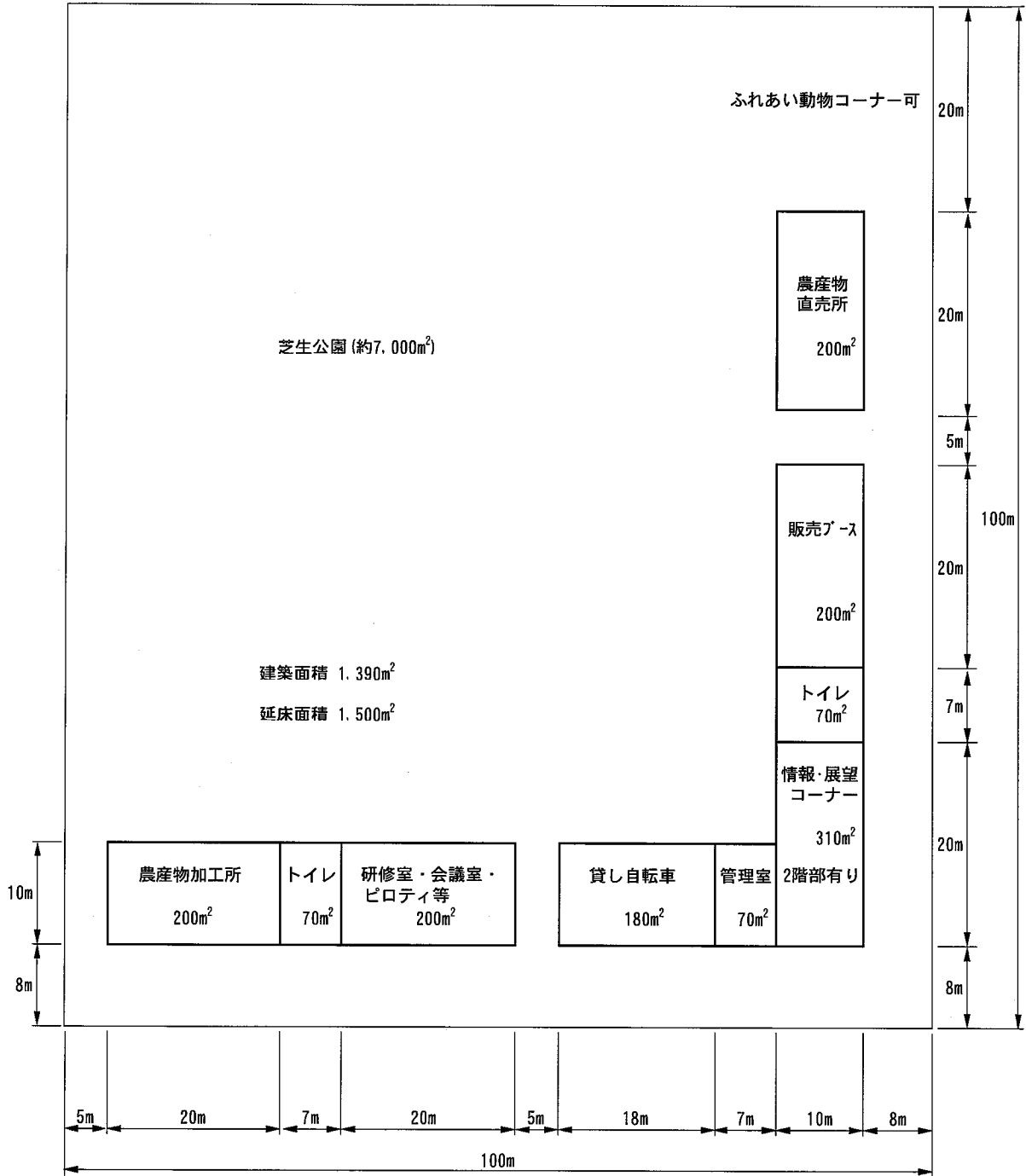
第4案：建築・延べ床面積 540m²

- ①農産物加工所・研修室 (200m²)
- ②農産物直売所 (200m²)
- ③管理室 (70m²)
- ④トイレ (70m²)

各案における施設の配置図及び施設概要表を次頁以降に示す。

(1) 島田地区農産物加工所・直売所等の企画(案)

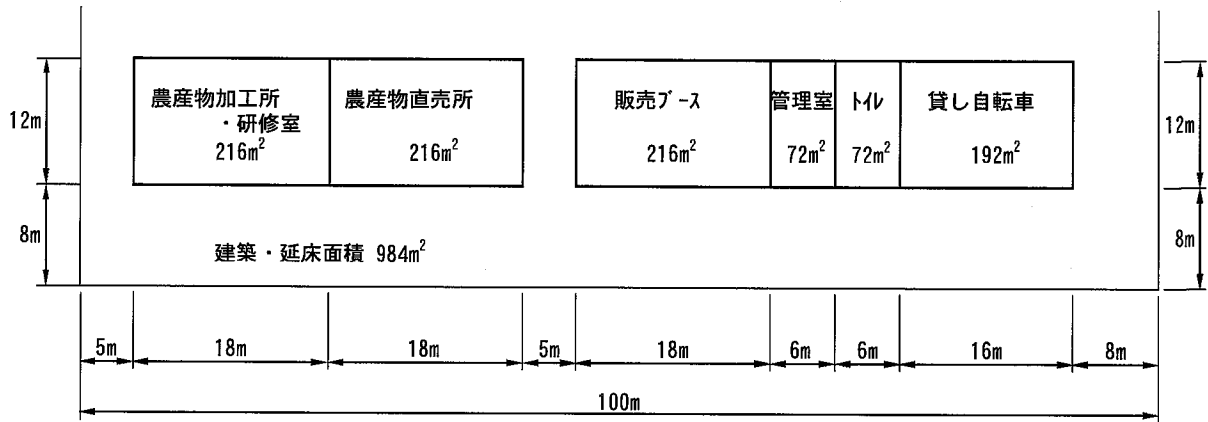
第 1 案



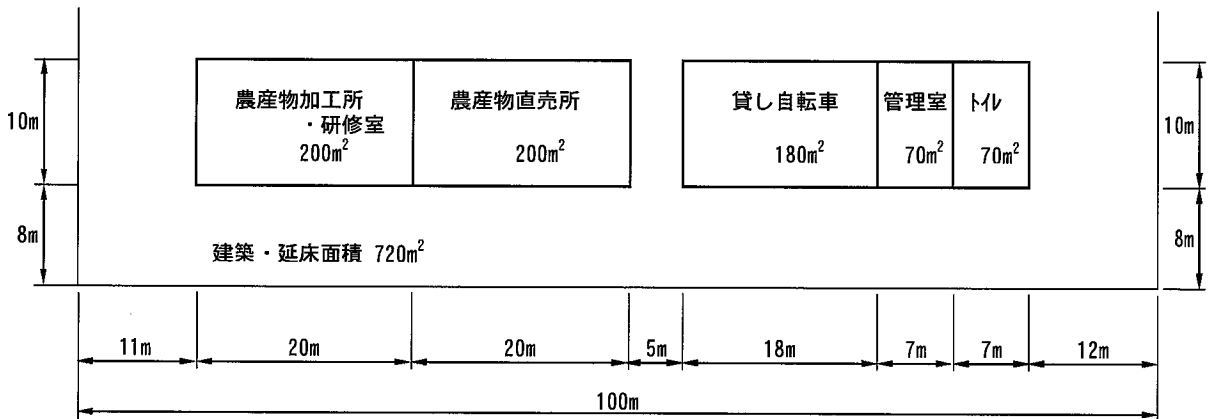
・郷のコーディネートは石目調のデザインや藁葺き屋根に水車等の田舎風など、建築物については検討

・1,500m² × 30万円/m² = 45,000万円 (外構込み)

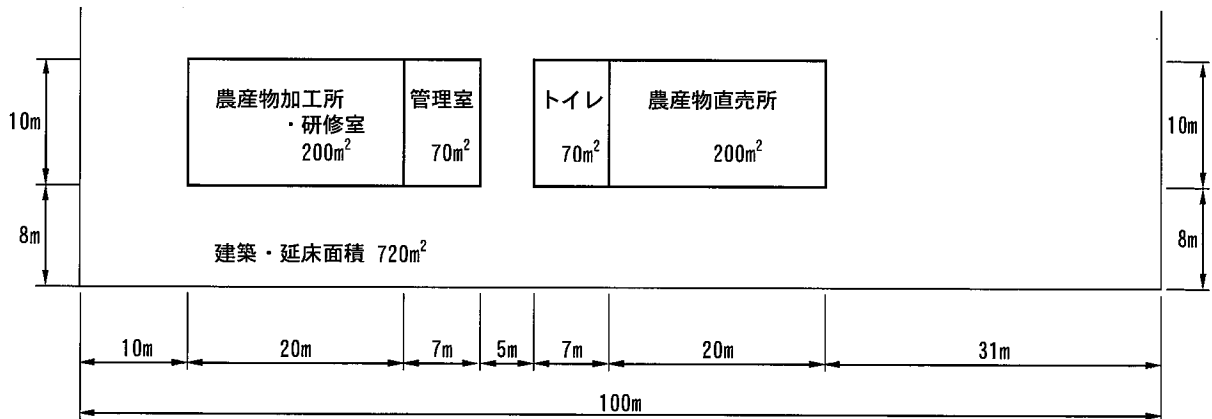
第 2 案



第 3 案



第 4 案



・なお、30万円/m²はデザインを石目調作りとした場合の建築費の目安であり、木造のサイディングを利用した外壁とすると 2/3~1/2 の建築費に抑えることも可能である。

(2) やちよふれあいの農業の郷構想中核施設スペース（案）の概要

①中心施設

施設概要	面積	施設概要	補助	1案	2案	3案	4案
販売ブースA 4ブース	200 m ²	50m ² を1ブースとし、1ブース単位で市が貸し出す。(計4ブース) 商工業ブースを想定	×	○	○	×	×
トイレA	70 m ²	市で管理	○	○	○	○	○
研修室・会議室・ピロティ等	200 m ²	農業研修や小中学校の農業体験研修及び会議にて利用 市で管理	○	○	×	×	×
情報コーナー 展望室	310 m ²	地元農産物や直売所や市の紹介 2階及び屋上は展望コーナーとする	×	○	×	×	×
管理室	70 m ²	市で管理	○	○	○	○	○
貸し自転車 スペース	180 m ²	約50台 2時間まで300円、それ以降1時間ごとに100円を徴収(案) 市で管理	×	○	○	○	×
トイレB	70 m ²	市で管理	○	○	×	×	×
販売ブースA 4ブース	200 m ²	50m ² を1ブースとし、1ブース単位で市が貸し出す。(計4ブース) 地元の農産物直売ブースを想定	○	○	○	○	○
加工教室	200 m ²	主に農産物加工教室として利用 市で管理	○	○	○	○	○
延床面積(m ²)				1,500	984	720	540

補助：○可 △検討 ×不可
案：○実施 △検討 ×難

②その他の施設について

施設概要	面積	施設概要	補助	1案	2案	3案	4案
ふれあい動物コーナー	400 m ²	八千代市産の畜産コーナー、ふれあい動物（うさぎ、猫、犬、モルモット等）コーナーとし、各200m ² ずつできれば 将来計画	×	△	△	△	△
ふれあい広場	約7000 m ²	芝生公園・広場とする 市で管理	○	○	○	○	○
じゃぶじゃぶ小川		子供が遊べるもので浅く計画 市で管理	△	△	△	△	△
水車		建築物と一体的な構造とする。市で管理	○	△	△	△	△
遊歩道		市で管理	○	○	○	○	○
観光農園・体験農園		島田で経営。地元で管理	△	○	○	○	○
市民農園		島田で経営。地元で管理	△	○	○	○	○
ゆめのかげ橋		島田地区と米本地区を結ぶ。将来計画	△	△	△	△	△
駐車場		普通車約73台を設置予定	○	○	○	○	○
補助：○可 △検討 ×不可				○実施 △検討 ×難			

③検討施設について

施設概要	面積	施設概要	補助	1案	2案	3案	4案
レストラン	200 m ²	地元野菜や農畜産物を使用したレストラン 農家等で借りて経営できるかどうか検討	△	○	×	×	×

農業研修センター、ふるさとステーションとの床面積比較表

①農業研修センター

農業研修センター		該当する本構想計画における施設及び床面積
室名	床面積 (m ²)	
料理実習室	46.4	農産物加工所 200m ² , 研修室・会議室・ピロティ等 200m ²
後継者研修室	45.0	
実習準備室	15.6	
会議室 (洋室)	46.5	
会議室 (和室)	69.0	
多目的ホール	171.0	
湯沸室 (1階)	6.3	
湯沸室 (2階)	3.7	
計	403.5	
健康相談室	20.7	情報・展望コーナー 310m ²
展示資料室	63.3	
計	84.0	
事務室	15.4	管理室 70m ²
倉庫	14.5	
倉庫	15.7	
計	45.6	
トイレ (1階)	30.5	トイレ70m ² ×2=140m ²
トイレ (2階)	25.9	
計	56.4	

②ふるさとステーション

ふるさとステーション		該当する本構想計画における施設及び床面積
室名	床面積 (m ²)	
農産物特産物展示場	151.7	農産物直売所 200m ² , 販売ブース 200m ²
倉庫	52.7	
温室	65.0	
計	269.4	
レストラン	183.0	村のレストラン 200m ²
厨房	79.8	
計	262.8	
会議室・研修室	97.4	研修室・会議室・ピロティ等 200m ²
ピロティ	197.1	
計	294.5	
情報コーナー	85.8	情報・展望コーナー 310m ²
乳製品情報コーナー	51.3	
ラウンジ	74.0	
計	211.1	
事務室	69.4	管理室 70m ²
トイレ	73.6	トイレ70m ² ×2=140m ²

7-2. 概算工事費等の算定

「やちよふれあいの農業の郷」見直し計画に係る概算事業費(案)及び年度別事業費(案)を以下に示す。

(1) 概算工事費

【「やちよふれあいの農業の郷」構想 事業費一覧表】(案)

概要	施設	概算事業費	用地費	概算事業費計
米本側は既存の農産物コーナーの増設あるいはふるさとステーション内でのレイアウトの見直し、駐車場の拡張。島田地区はハーブデカイパークとして整備する	①ふれあいの広場の整備(あずまや・ベンチ・舗装) 7,000㎡ ・芝生広場、ベンチ等の休息施設 ②駐車場の拡張 当初計画 2,000㎡ ・小型車 70台 駐車可能	事業費 5,100 万円 農村公園施設整備事業(国庫) 国(1/2) 2,550 万円、県(3割) 1,530 万円 市(2割) 1,020 万円 事業費 400 万円 市(単独費)	7,000 万円 (7,000㎡) 市(単独費) 2,000 万円 (2,000㎡) 市(単独費)	12,100 万円 国(1/2) 2,550 万円 県(3割) 1,530 万円 市(2割) 8,020 万円 2,400 万円 市(単独費)
(島田地区は農産物加工を中心とした半日を過ごせるようなハーブデカイパークとして整備。また、農産物直売所、市内産物の展示販売所、地場産業の情報コーナーを計画。 農産物加工所・農産物直売所等の用地として3,000㎡、ふれあいの広場は当初計画の10,000㎡から7,000㎡に減少。駐車場、2000㎡、国道16号線より小型車のみをアクセスで島田地区への進入路は当初計画通り。 夢のかけ橋の設置。)	③中核施設(島田地区内) 3,000㎡ ・農産物加工を中心として考え、観光農園、市民農園で取れたものを加工して食べられるようにする。農家による加工品の製造、研究開発。また、そば打ち体験、パン作り教室などにも利用する。 ・研修所・会議室 ・貸し自転車スペース ・管理室 ・販売ブース(商工業及び農産物直売所) ④ゆめのかけ橋(米本地区と島田地区を結ぶ) ⑤測量試験費 ・基本設計、実施設計、用地測量、地質調査	事業費 ヨーロッパ風建築物 45,000 万円 市(単独費) 30万円/㎡×1,500㎡(外構込み) 事業費 25,000 万円 市(単独費) 事業費 3,191 万円 市(単独費)	米本側 5,000 万円 (5,000㎡) 島田側 3,000 万円 (3,000㎡) 市(単独費)	53,000 万円 市 53,000 万円 25,000 万円 市 25,000 万円 31,910 万円 市 31,910 万円
メリット	事業費計	78,691 万円 国 2,550 万円 県 1,530 万円 市 74,611 万円	17,000 万円 国 - 万円 県 - 万円 市 17,000 万円	95,691 万円(平塚建の場合) 国 2,550 万円 県 1,530 万円 市 91,611 万円
デメリット	・米本地区、島田地区にそれぞれ別の機能を持たせることにより、両地区の共存が図れる。 ・ふれあいの広場が小さくなるが確保される。 ・米本地区の駐車場・トイレが拡張できる。 ・ふるさとステーションに知恵ぶくろ機能(都市農業センター)をもたせることが可能。 ・島田地区は整備計画に対する影響度は小さい。	・島田地区には大型車が進入不可。 ・米本地区の用地確保が前提で計画が実現するには、いつになるかわからない。 ・島田地区とふるさとステーションを結ぶ新たな橋(ゆめのかけ橋)が必要となる。		

※各事業費の財源については、現時点で導入が見込まれている事業のみ内容を記入し、その他は市単とした。

第 号

「やちよふれあいの農業の郷」構想 工事費 明細書

金 956,910,000 円 也

内 訳

単位：円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 書 単 価 表 番 号	摘 要
1. ふれあい広場	A=7,000m ²	1.0	式		121,000,000	明細第 1号	
2. ふれあい広場駐車場	A=2,000m ²	1.0	式		24,000,000	明細第 2号	
3. 中核施設		1.0	式		530,000,000	明細第 3号	
4. ゆめのかげ橋		1.0	式		250,000,000	明細第 4号	
5. 測量試験費		1.0	式		31,910,000	明細第 5号	
総 計					956,910,000		

第 1 号

ふれあい広場の整備(案) 工事費明細書

金 121,000,000 円 也

内 訳

単位：円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 書 単 価 表 番 号	摘 要
1. ふれあい広場 (A=7,000m ²)							
1-1. 広場工	芝生工	7,000	m ²	2,960	20,720,000		
1-2. 外柵工	ネットフェンス, H=1.5m	400.0	m	11,562	4,624,800		
1-3. 植栽工 (中木)	キンモクセイ, H=1.8m, 枝張り 0.5m	80.0	本	9,258	740,640		
1-4. 植栽工 (低木)	カルマツツジ, H=0.5m, 枝張り 0.4m	400.0	本	2,125	850,000		
1-5. 四阿 (あずまや)	3.8m×6.0m	1.0	基	4,858,000	4,858,000		
1-6. パーゴラ	L8,000×W4,000 ×H3,200	1.0	基	2,156,000	2,156,000		
1-7. ベンチ	W1800×D450×H400	5.0	基	104,860	524,300		
1-8. 連絡橋		2.0	橋	4,169,000	8,338,000		
1-9. 外周水路工	U-240	200.0	m	9,770	1,954,000		
1-10. 暗渠工		70.0	a	21,440	1,500,800		
小 計					46,266,540		
1-11. その他付帯施設	小計の10%	1.00	式		4,626,654		
計					50,893,194		
				改め	51,000,000		
1-12. 用地費		7,000	m ²	10,000	70,000,000		
合 計					121,000,000		

第 2 号

ふれあい広場駐車場(案) 工事費明細書

金 24,000,000 円 也

内 訳

単位:円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細書 単価表 番 号	摘 要
2. ふれあい広場駐車場 (A=2,000㎡)							
2-1. 舗装工	砕石舗装, t=150mm	2,000	㎡	1,005	2,010,000		
2-2. 外柵工	ネットフェンス, H=1.5m	150.0	m	11,562	1,734,300		
小 計					3,744,300		
2-3. その他付帯施設	小計の10%	1.00	式		374,430		
計					4,118,730		
				改め	4,000,000		
2-4. 用地費		2,000	㎡	10,000	20,000,000		
合 計					24,000,000		

第 3 号

中核施設(案)工事費明細書

金 530,000,000 円也

内 訳

単位：円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細書 単価表 番 号	摘 要
3. 中核施設							
3-1. 農産物加工所		200	m ²	280,000	56,000,000		
3-2. 農産物直売所		200	m ²	280,000	56,000,000		
3-3. 管理室		70	m ²	280,000	19,600,000		
3-4. トイレ	70m ² /ヶ所×2ヶ所	140	m ²	280,000	39,200,000		
3-5. 貸し自転車場		180	m ²	280,000	50,400,000		
3-6. 販売ブース	50m ² /ブース×4ブース =400m ²	200	m ²	280,000	56,000,000		
3-7. レストランあるいは研修室		200	m ²	280,000	56,000,000		
3-8. 情報展望コーナー		310	m ²	280,000	86,800,000		
3-9. じゃぶじゃぶ水路		30.0	m	100,000	3,000,000		
3-10. 水車		1.0	式		5,000,000		
3-11. 水路		20.0	m	100,000	2,000,000		
3-12. 浄化槽		1.0	式		20,000,000		
計					450,000,000		
				改め	450,000,000		
3-9. 用地費	島田側	3,000	m ²	10,000	30,000,000		
	米本側駐車場用地	5,000	m ²	10,000	50,000,000		
計					80,000,000		
合 計					530,000,000		

第 4 号

ゆめのかげ橋(案) 工事費明細書

金 250,000,000 円 也

内 訳

単位：円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細書 単価表 番 号	摘 要
4. ゆめのかげ橋							
4-1. 上部工 (斜張橋)	人道橋, B=3m, 橋長L=95m	285	m ²	500,000	142,500,000		
4-2. 下部工	橋台2ヶ所, 橋脚1ヶ所	1	式		108,000,000		
合 計					250,500,000		
				改め	250,000,000		

第 5 号

測 量 試 験 費 明 細 書

金 31,910,000 円 也

内 訳

単位：円

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 書 単 価 表 番 号	摘 要
5. 測量試験費							
5-1. 基本設計		1	式		6,000,000		
5-2. 用地測量	平面測量 1,200m ²	1,200	m ²	100	120,000		
	諸経費 90%	0.90		120,000	108,000		
小 計					228,000		
				改め	230,000		
5-3. 地質調査	ホ-リツク, L=20m×5ヶ所	100.0	m	12,000	1,200,000		
	標準貫入試験	100.0	回	8,000	800,000		
	室内土質試験 5試料	5.0	試料	80,000	400,000		
	諸経費 40%	0.40		2,400,000	960,000		
小 計					3,360,000		
5-4. 実施設計	建築物設計 A=1500m ² 直接人件費	1.0	式		5,600,000		
	技術経費・諸経費	1.20		5,600,000	6,720,000		
	橋梁設計 L=100m	1.0	式		10,000,000		
小 計					22,320,000		
合 計					31,910,000		

(2) 「やちよふれあいの農業の郷」構想 年度別事業費 (案)

千円

項 目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計	備 考
1. 基本設計	6,000					6,000	
2. 用地測量	230					230	
3. 用地取得		70,000	50,000			120,000	
4. 地質調査		3,360				3,360	
5. 実施設計		22,320				22,320	
6. 建設工事						0	
①ふれあい広場整備			51,000			51,000	
②駐車場整備			4,000			4,000	
③ふれあいの農業の郷中核施設			150,000	150,000	150,000	450,000	
④ゆめのかげ橋				125,000	125,000	250,000	
7. 用地取得 (米本地区駐車場)				50,000		50,000	
総 事 業 費	6,230	95,680	255,000	325,000	275,000	956,910	
財 源 内 訳							
国庫支出金			25,500			25,500	
特定財源							
県支出金			15,300			15,300	
地方債							
その他特定財源							
一般財源	6,230	95,680	214,200	325,000	275,000	916,110	

※各事業費の財源については、現時点で導入が見込まれている事業のみ内容を記入し、その他は市単とした。

(3) 各施設の算出根拠

① 駐車場

a) 規模決定の方針

ふれあい広場に隣接する駐車場規模は、想定される年間来客見込み数より決定する。年間来客見込み数は、国道 16 号の交通量及びやちよふるさとステーション計画時の資料より立ち寄り客と目的客を想定し算定するとともに、イベント等開催時のピーク必要台数も算定する。

b) 年間来客見込み数

7) 立ち寄り客想定

平成 11 年度 12 時間交通量調査：調査時点国道 16 号米本 2005 地先（休日、日中 7～19 時）を参考

単位：台数／12 時間

区分	乗用車	バス	貨物車類	合計(台/12 時間)
日中	25,797	293	3,828	29,918

年間立ち寄り客は駐車場は乗用車対応であるため、乗用車の交通量調査数を基に算出するものとする。

年間立ち寄り客 来客見込み数

区分	台数 (台/12 時間)	台数 (台/10 時間)	平均乗用 人数(人/台)	立寄り率 (%)	日当たり 入客数(人/日)	年間立寄り 客数(人/年)
乗用車	25,797	21,498	2.5	1.00	537	193,482

※立ち寄り率はステーション計画時の 1%を採用する。

※25,797 台は 12 時間当たりの通過台数であり、実際の営業時間は 10 時間位となる見込みであり、25,797 台×10 時間／12 時間として算出した。

25,797 台／時間×10 時間／12 時間＝21,498 台／10 時間

※25,797 台／10 時間×2.5 人／台×1.00%×360 日＝193,482 人／年
(10 時間通過交通量) (平均乗用人数) (立寄り率) (年間営業日数) (年間立寄り客数)

1) 目的客想定

ステーション計画事「味の研修館」完成来客総定数

3,000 人／月 × 12 ヶ月 × 1.5 倍 = 54,000 人／年

目的別来客数はふるさとステーションでは大幅にアップした経緯からこの 2.0 倍程度と想定する。

54,000 人／年 × 2.0 倍 = 108,000 人／年

ウ) 年間立ち寄り及び目的客総数

193,482 人／年 + 108,000 人／年 = 301,482 人／年
(年間立寄り客数) (目的客数) (年間客総数)

1) 年間立ち寄り及び目的客の駐車台数

$$301,482 \text{ 人} \div 360 \text{ 日} = 837 \text{ 人/日}$$

$$837 \text{ 人} \div 10 \text{ 時間} = 84 \text{ 人/時間 (時間当たりの来客数)}$$

(1日の開店時間) (時間当たりの来客数)

$$84 \text{ 人/時間} \times 9 \text{ 割} \div 2.5 = 30 \text{ 台/時間}$$

(時間当たりの来客数) (自動車来客数) (1人当たり2.5人の乗車) (時間当たりの平均出入り台数)

駐車サイクルは1台あたり平均2.5時間位と想定すると、

$$30 \text{ 台/時間} : 75 \text{ 台/時間} = 1 \text{ 時間} : 2.5 \text{ 時間}$$

(時間当たりの平均出入り台数) (時間当たり駐車必要台数) (1台あたり平均2.5時間位と想定)

※駐車台数等算出に係る条件

自動車での来客者は約9割と想定する。

1台あたり2.5人の乗車で来場するものと想定。

駐車サイクルは1台あたり2.5時間位と想定する。

ピーク時の駐車必要台数は1.5倍と想定すると、

$$75 \text{ 台/時間} \times 1.5 \text{ 倍} = 113 \text{ 台となる。}$$

以上より、駐車場規模は普通車120台程度を考え、ふれあい広場駐車場に72台、ライ
スセンター敷地内に51台計123台駐車できるよう整備する。

c) シーズンイベント及びフリーマーケット等集客数

7) 集客数及び駐車台数

$$\text{年間開催回数} \dots \dots \dots 4 \text{ 回/年}$$

$$1 \text{ 回当たり想定集客数} \dots \dots \dots 2,000 \text{ 人/回}$$

$$\text{年間想定集客数} \dots \dots \dots 2,000 \text{ 人/回} \times 4 \text{ 回/年} = 8,000 \text{ 人/年}$$

$$2,000 \text{ 人/回} \div 10 \text{ 時間} = 200 \text{ 人/時間}$$

(1回開催時間) (時間当たりの来客数)

$$200 \text{ 人/時間} \times 9 \text{ 割} \div 2.5 = 72 \text{ 台/時間}$$

(時間当たりの来客数) (自動車来客数) (1台あたり2.5人の乗車) (時間当たりの平均出入り台数)

駐車サイクルはイベント時は1台あたり平均1.5時間位と想定すると、

$$72 \text{ 台/時間} : 108 \text{ 台/時間} = 1 \text{ 時間} : 1.5 \text{ 時間}$$

(時間当たりの平均出入り台数) (時間当たり駐車必要台数) (1台あたり平均1.5時間位と想定)

ピーク時の駐車場必要台数は1.5倍とすると、

$$108 \text{ 台/時間} \times 1.5 \text{ 倍} = \text{約} 162 \text{ 台となる。}$$

以上より、駐車場不足となるため、イベント時等は臨時駐車場を準備して対応する。

d) 年間来客見込み総数

$$193,482 \text{ 人} + 108,000 \text{ 人} + 8,000 \text{ 人} = 309,482 \text{ 人}$$

(年間立ち寄り客見込み数) (年間目的客見込み数) (イベント等集客数) (年間来客見込み総数)

駐車スペース平面図（案） S=1:1,000



②トイレ

a) 規模決定の方針

トイレの規模は、「①駐車場」で算出した1日当たりの平均利用者数（837人/日：立ち寄り及び目的客）より定める。

b) 便器数の算定

1日当たりの平均利用者数837人より、トイレ利用者の男女数に極端な片寄りはないものとして、トイレ使用時間を以下のとおり考える。

男：利用人数：420人（男女人数同数として $837 \text{人} \div 2 \doteq 420 \text{人}$ ）

男性1人当たり平均使用時間3分 → トイレ使用時間 $420 \text{人} \times 3 \text{分} = 1,260 \text{分}$

女：利用人数：420人（男女人数同数として $837 \text{人} \div 2 \doteq 420 \text{人}$ ）

女性1人当たり平均使用時間5分 → トイレ使用時間 $420 \text{人} \times 5 \text{分} = 2,100 \text{分}$

滞在時間を平均2.5時間程度と考えると、便器数は以下のとおりとなる。

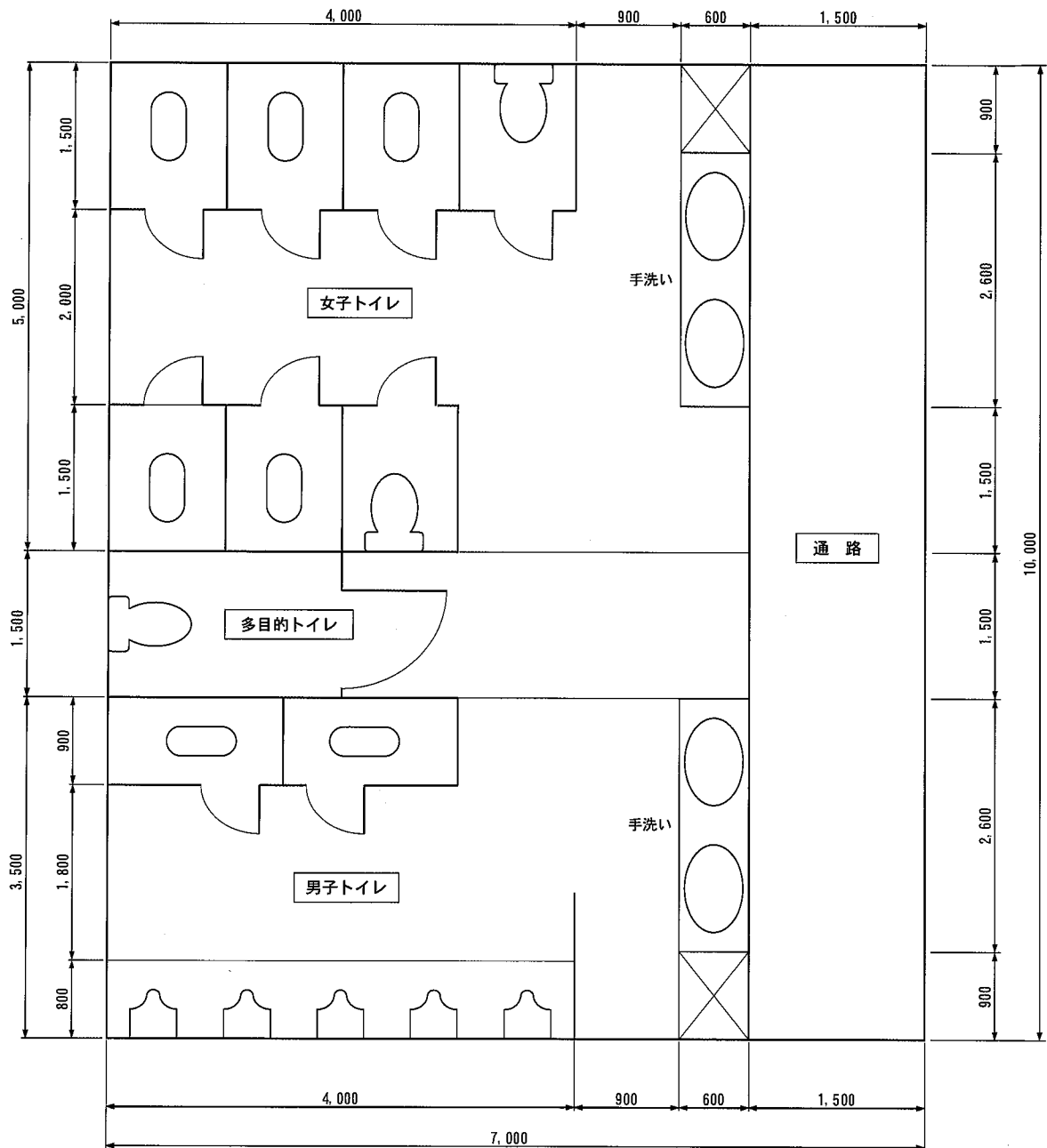
男：トイレ使用時間 $1,260 \text{分} \div (2.5 \text{時間} \times 60 \text{分}) = 9 \text{基}$

女：トイレ使用時間 $2,100 \text{分} \div (2.5 \text{時間} \times 60 \text{分}) = 14 \text{基}$

トイレは、中核施設の中に2ヶ所設けることとすると、トイレ1ヶ所当たりの便器数は、男小使用5基、男大使用：2基、女子用7基、多目的トイレ（身障者、乳幼児連れ客用）1基となる。

次頁にトイレ平面図を示す。

トイレ平面図 (案)



③合併浄化槽規模の算定

トイレの尿尿及び農産物加工所、直売所等の排水を処理するための合併浄化槽の規模は、「建築物の用途別による尿尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302-2000)」により、その処理対象人員を算定し、決定する。

中核施設に計画される農産物加工所、農産物直売所等の施設を考慮し、次頁に示す「建築用途別処理対象人員算定基準表」の中から店舗・マーケットの算定式 (5・イ) を用い処理対象人員を算定する。

・店舗マーケットの処理対象人員算定式

$$n = 0.075A \quad n : \text{人員 (人)} \\ A : \text{延べ面積 (m}^2\text{)}$$

上式より各施設配置案における処理対象人員を算定すると下表のとおりとなる。

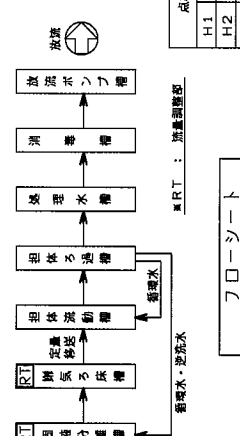
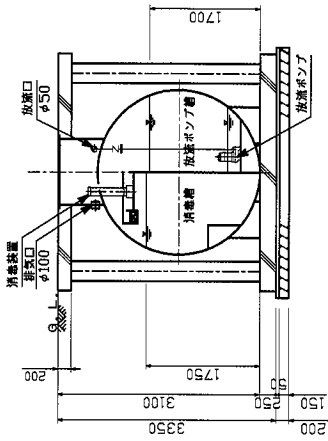
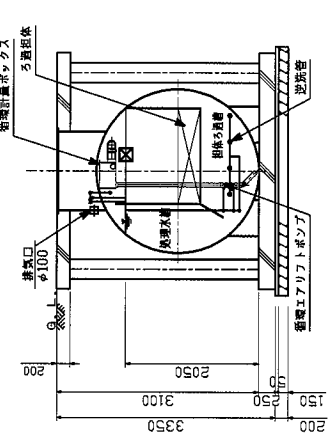
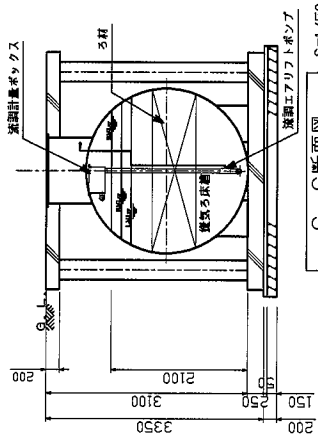
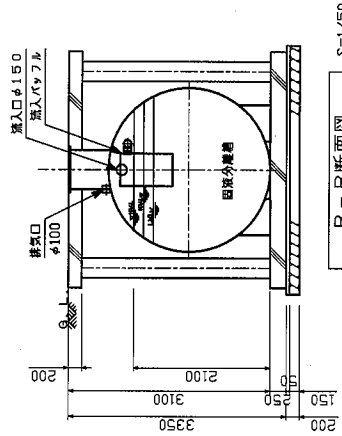
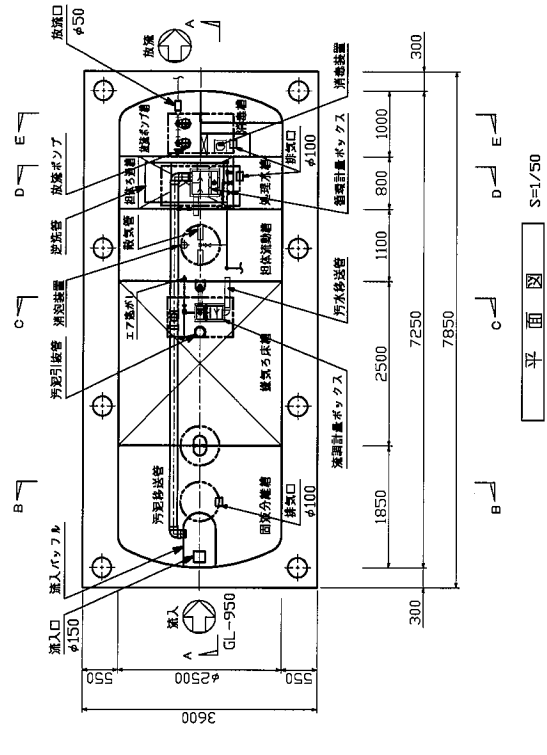
施設配置案	延べ面積 (m ²)	処理対象人員 (人)	浄化槽規模
第1案	①農産物加工所 :200m ²	0.075×1,110 m ² =83.25 人	85 人槽
	②農産物直売所 :200m ²		
	③販売ブース :200m ²		
	④研修室・会議室・ピロティ等 :200m ²		
	⑤情報展望コーナー :310m ²		
	計 1,110m ²		
第2案	①農産物加工所 :216m ²	0.075×648 m ² =48.6 人	30 人槽
	②農産物直売所 :216m ²		
	③販売ブース :216m ²		
	計 648m ²		
第3・4案	①農産物加工所 :200m ²	0.075×400 m ² =30 人	30 人槽
	②農産物直売所 :200m ²		
	計 400m ²		

85 人対象の浄化槽の構造図を後掲する。

建築用途別処理対象人員算定基準表

類似用途別番号	建築用途			処理対象人員		
				算定式	算定単位	
1	集会場施設関係	イ	公会堂・集会場・劇場・映画館・演芸場		n=0.08A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)	
		ロ	競輪場・競馬場・競艇場		n=16C n:人員(人) C ⁽¹⁾ :総便器数(個)	
		ハ	観覧場・体育館		n=0.065A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)	
2	住宅施設関係	イ	住宅	A<130 ⁽²⁾ の場合	n=5 n:人員(人)	
				130 ⁽²⁾ ≤Aの場合	n=7 A:延べ面積(m ²)	
		ロ	共同住宅		n=0.05A n:人員(人) ただし、1戸当りのnが3.5人以下の場合は1戸当りのnを3.5人または2人(1戸が1居室だけで構成されている場合に限る)とし、1戸当りのnが6人以上の場合は1戸当りのnを6人とする。 A:延べ面積(m ²)	
		ハ	下宿・寄宿舎		n=0.07A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)	
		ニ	学校寄宿舎・自衛隊・キャンプ宿舎・老人ホーム・養護施設		n=P n:人員(人) P:定員(人)	
3	宿泊施設関係	イ	ホテル・旅館	結婚式場または宴会場を有する場合	n=0.15A n:人員(人)	
				結婚式場または宴会場を有しない場合	n=0.075A A:延べ面積(m ²)	
		ロ	モーテル		n=5R n:人員(人) R:客室数	
ハ	簡易宿泊所・合宿所・ユースホテル・青年の家		n=P n:人員(人) P:定員(人)			
4	医療施設関係	イ	病院・診療所・伝染病院	業務用の厨房設備または洗濯設備を設ける場合	300床未満の場合 n=8B 300床以上の場合 n=11.43(B-300)+2,400	
				業務用の厨房設備または洗濯設備を設けない場合	300床未満の場合 n=5B 300床以上の場合 n=7.14(B-300)+1,500	
			ロ	診療所・医院		n=0.19A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)
			ハ	喫茶店		n=0.80A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)
5	店舗関係	イ	店舗・マーケット		n=0.075A n:人員(人) A:延べ面積(m ²)	
		ロ	百貨店		n=0.15A	
		ハ	飲食店	一般の場合		n=0.72A
				汚濁負荷の高い場合		n=2.94A
				汚濁負荷の低い場合		n=0.55A
ニ	喫茶店		n=0.80A			

合併浄化槽構造図 S=1:115



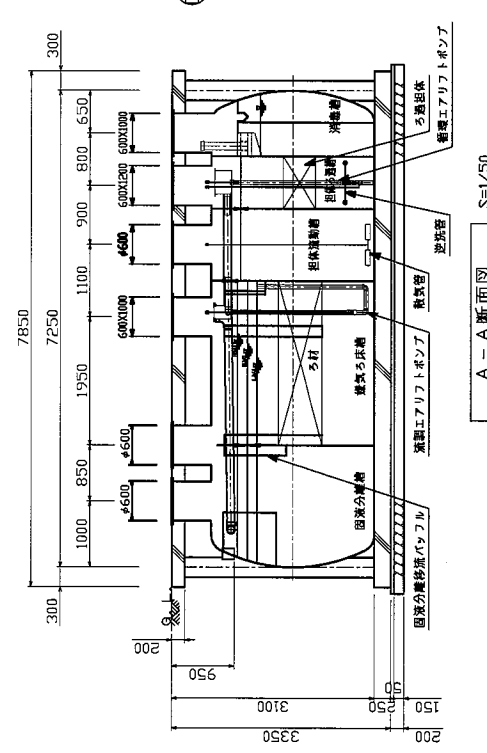
浄化槽仕様書	
型式	K-HC-T-1B
処理対象人口	85人
日平均汚水量	17.0 m ³ /日
最大BOD量	3.40 kg/日
流入水質	BOD 200 mg/L
処理水質	BOD 20 mg/L以下
処理方式	ビークアップ汚濁調整槽汚濁調整方式 曝気ろ過・浮遊物除去

汚濁調整槽	2.57 m ³
固液分離槽	6.96 m ³
曝気ろ過槽	10.27 m ³
浮遊物除去槽	4.73 m ³
貯水槽	1.92 m ³
汚水貯留槽	1.27 m ³
汚水貯留槽	1.95 m ³
汚水貯留槽	1.50 m ³
汚水貯留槽	30.77 m ³

吊钩口断仕様 (1500K)	
H1	φ600
H2	600x1000
H3	600x1200

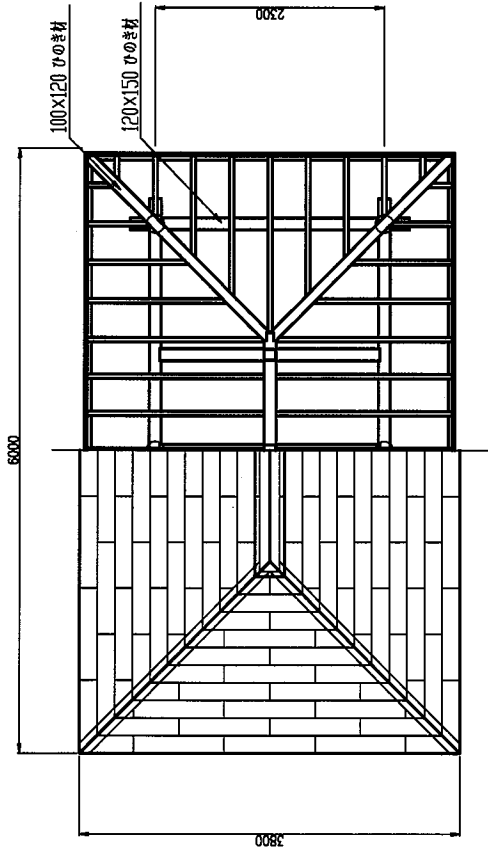
構造リスト	
構造名	構造
ばねアクリル	0.85 m ² /φ10.2k/φ7.32k x 0.75mm x 2巻
深層アクリル	0.12 m ² /φ10.2k/φ7.15k x 0.2k x 1巻
深層アクリル	0.15 m ² /φ13.8k x 40k x 0.25mm x 2巻

※本装置はFRP製とする。
 ※チエックカーブプレート等は、別途図面アップし仕上げる。
 ※マンホール・チェッカープレートは、防臭バッキン付とする。



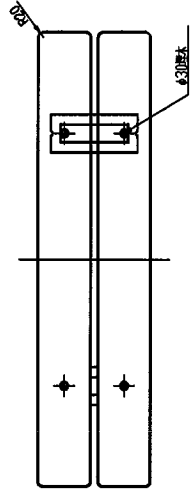
四阿構造図 S=1/75

平面図

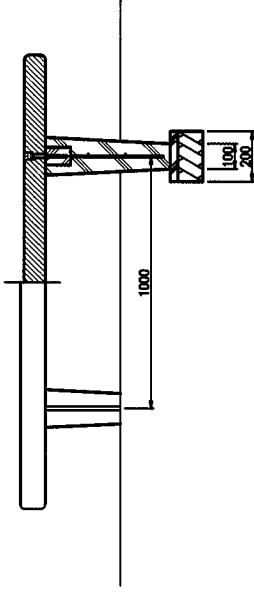


ベソチ構造図 S=1/30

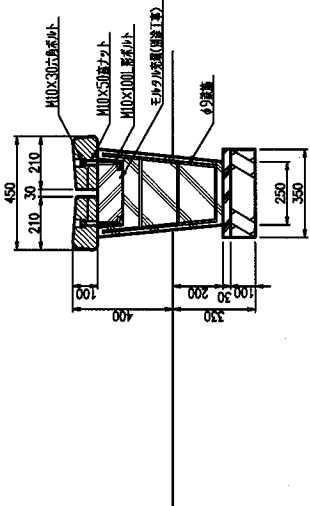
平面図



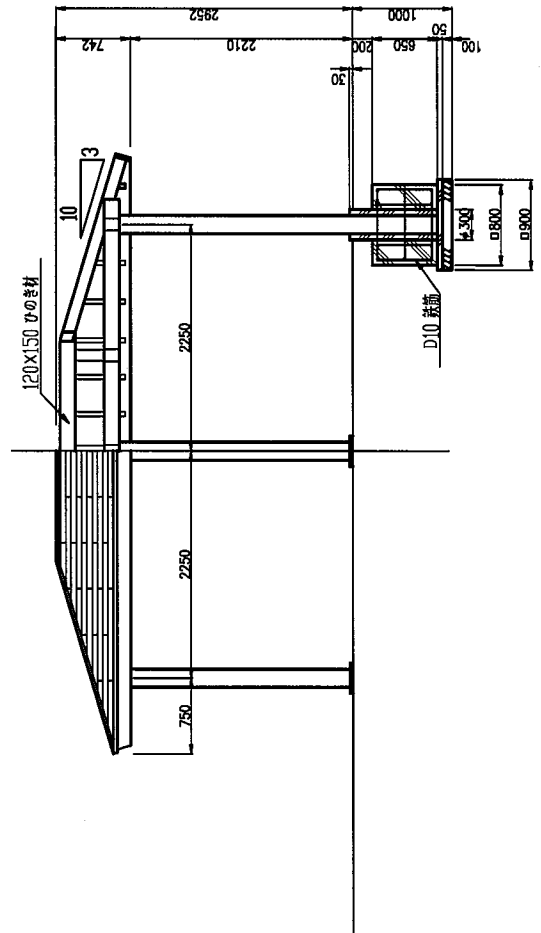
断面図 1



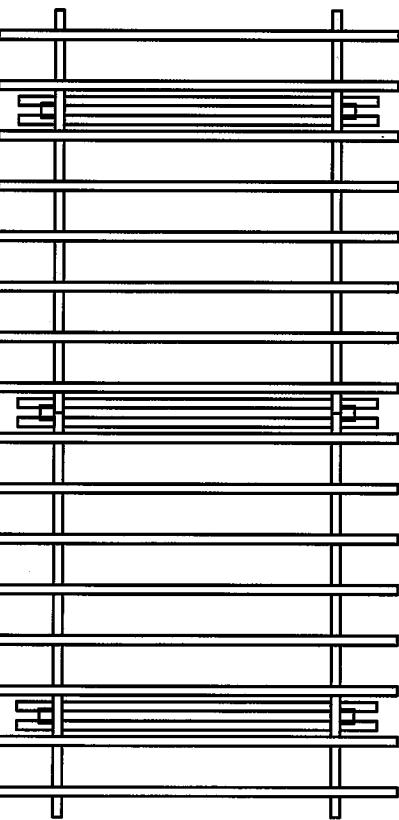
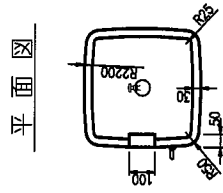
断面図 2



立面図



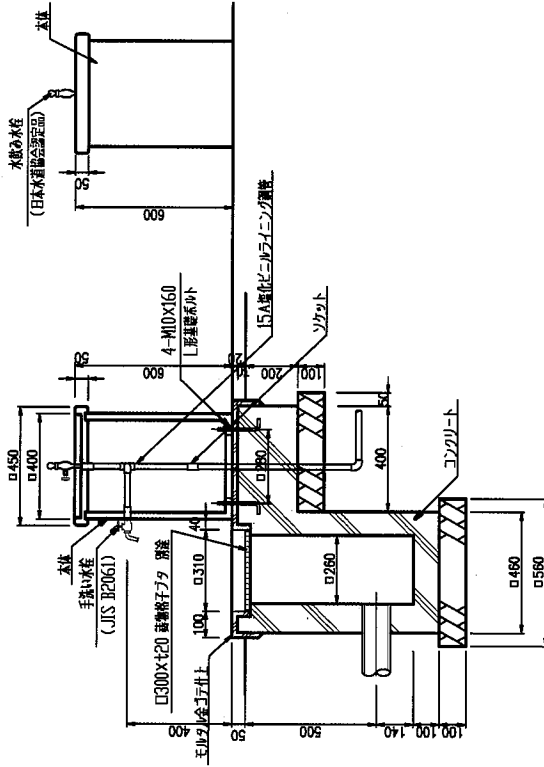
水飲場構造図 S=1/30



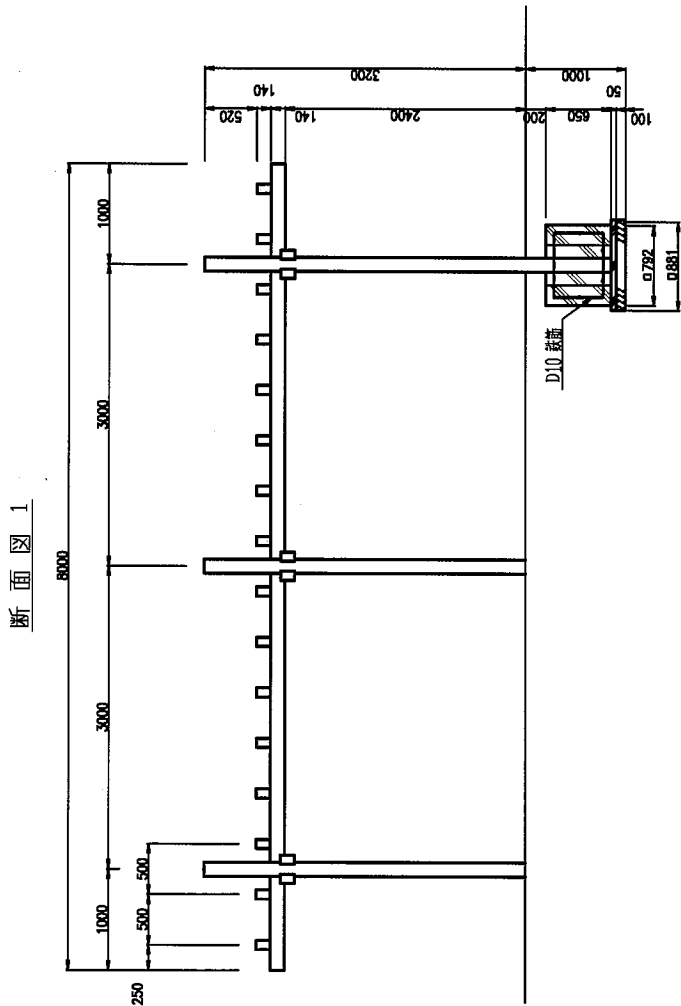
パーゴラ構造図 S=1/75

平面図

断面図 2



断面図 1



断面図 1

7-3. 営農施設（ライスセンター）

(1) 規模決定の方針

計画するライスセンターの対象範囲は、ほ場整備事業が計画されている島田地区とする。島田地区の受益面積（水田面積）は、23ha（水田面積）であるため、施設規模は、この面積に対応した規模とする。

(2) 総処理量（生粳）

総処理量（生粳）は、下記の式より算出する。

$$W1 = W2 \times (100 - M2) \div \{0.8 \times (100 - M1)\} \div 100$$

ここで W1：生粳の重量 (kg/10a)

W2：玄米の重量 (525kg/10a：平成12年度)

M1：生粳の水分 (=25%)

M2：仕上がり水分 (=15.5%)

$$\therefore W1 = 525 \times (100 - 15.5) \div \{0.8 \times (100 - 25)\} = \underline{738 \text{ kg/10a}}$$

よって、地区全体の総処理量は、

$$W1 \times \text{受益面積} = 738 \text{ kg/10a} \times 23 \text{ ha} = \underline{170 \text{ ton}} \text{ となる。}$$

(3) 1日当たりの最大処理量

$$1 \text{ 日あたり平均荷受量} = 170 \text{ ton} \div 15 \text{ 日} = \underline{11.3 \text{ ton}} \text{ (実荷受日数：15日)}$$

$$1 \text{ 日あたり最大処理量} = 11.3 \text{ ton} \times 1.4 = \underline{15.8 \text{ ton}}$$

※搬入変動率=1.4（一般的に1.2~1.6）

(4) 設備能力の計算

①荷受設備：15.8 ton ÷ (8時間 × 0.7) = 2.8 ton/時間 → 5 ton/時間 × 1系列

②乾燥設備：乾燥時間 (25% - 15.5%) ÷ 0.7%/時間 = 13.6時間

※標準乾減率 0.7%/時間

$$\text{乾燥機 } 15.8 \text{ ton (1日あたり最大処理量)} \div 4 \text{ ton} = \underline{4 \text{ 基}}$$

※4 tonタイプ（1基当たり）使用

③粳摺設備：15.8 ton × (1 - 0.25) ÷ (1 - 0.155) ÷ (8時間 × 0.9) = 1.8 ton/時間

$$\rightarrow \underline{1.8 \text{ ton/時間} \times 1 \text{ 基 (5インチ粳摺機)}}$$

④出荷設備：計量タンクは粳摺能力の2時間分とする。

$$1.8 \text{ ton/時間} \times 2 \text{ 時間} \times 0.8 = 2.88 \text{ ton} \rightarrow \underline{\text{計量タンク } 3 \text{ ton}}$$

1日あたり出荷袋数 (30kg)

$$1.8 \text{ ton/時間} \times 8 \text{ 時間} \times 0.8 \div 30 \text{ kg} = 384 \text{ 袋/日}$$

(5) 施設の必要面積

①施設の建築面積

ライスセンター構造一般図より、建築面積は、 $25\text{m} \times 13\text{m} = \underline{325 \text{ m}^2}$ となる。

②荷受け作業に必要な面積

1日当たりの延べ搬入車両（軽トラック）台数

15.8ton （最大処理量） $\div 350\text{kg} = 46$ 台 ※軽トラック最大積載量 350kg

搬入車両の実台数

搬送回数 $738\text{kg}/10\text{a}$ （生糶重量） $\times 20\text{a} \div 350 \text{ kg} = 4.2$ 回

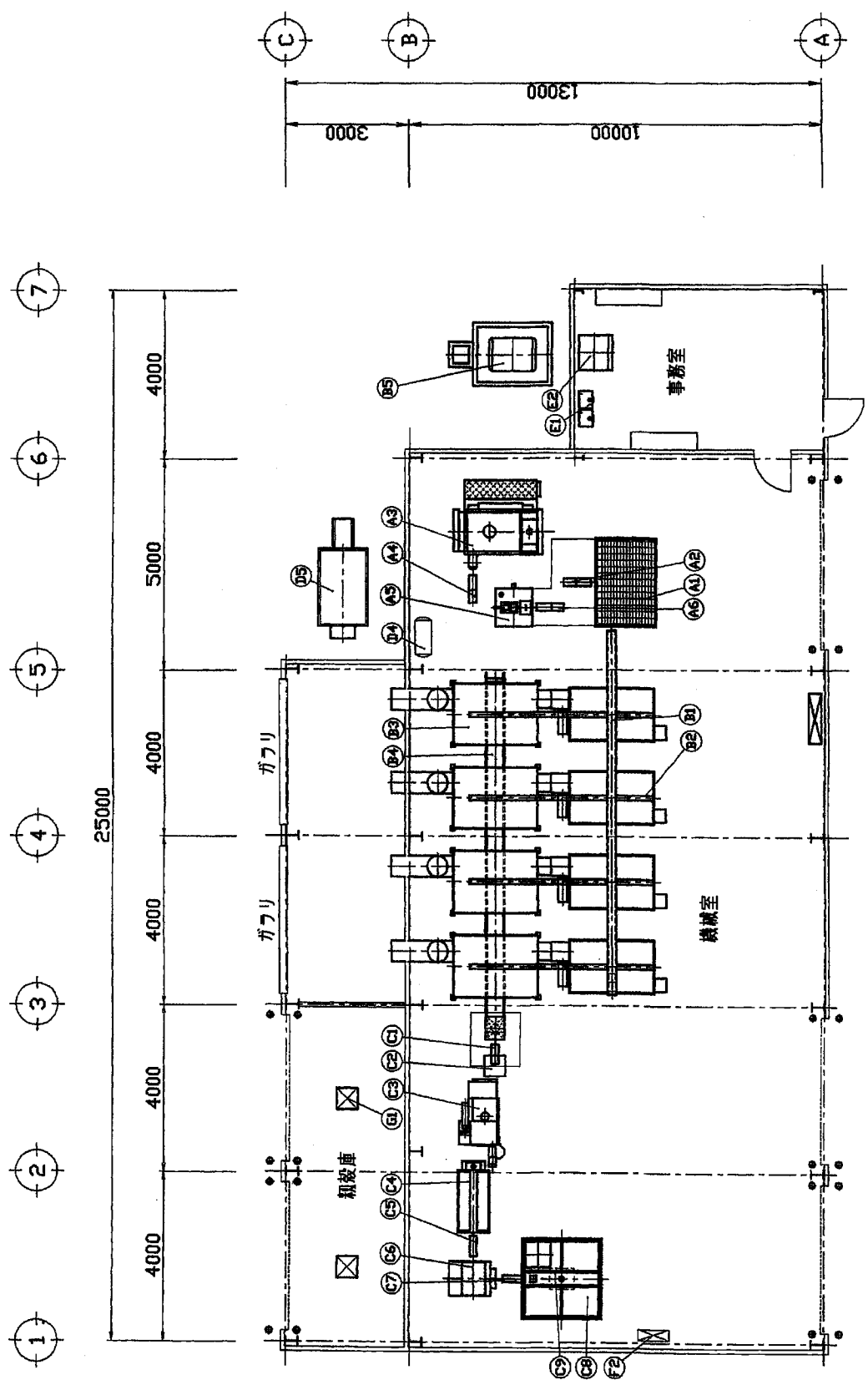
※農家の1日の刈り取り作業平均面積 20a

実台数 $46 \text{ 台} \div 4.2 \text{ 回} = 11 \text{ 台}$

必要面積 $11 \text{ 台} \times 15 \text{ m}^2 = \underline{165 \text{ m}^2}$

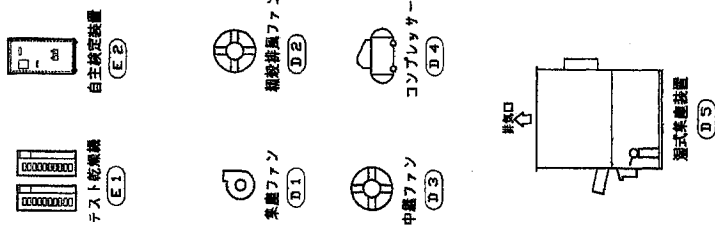
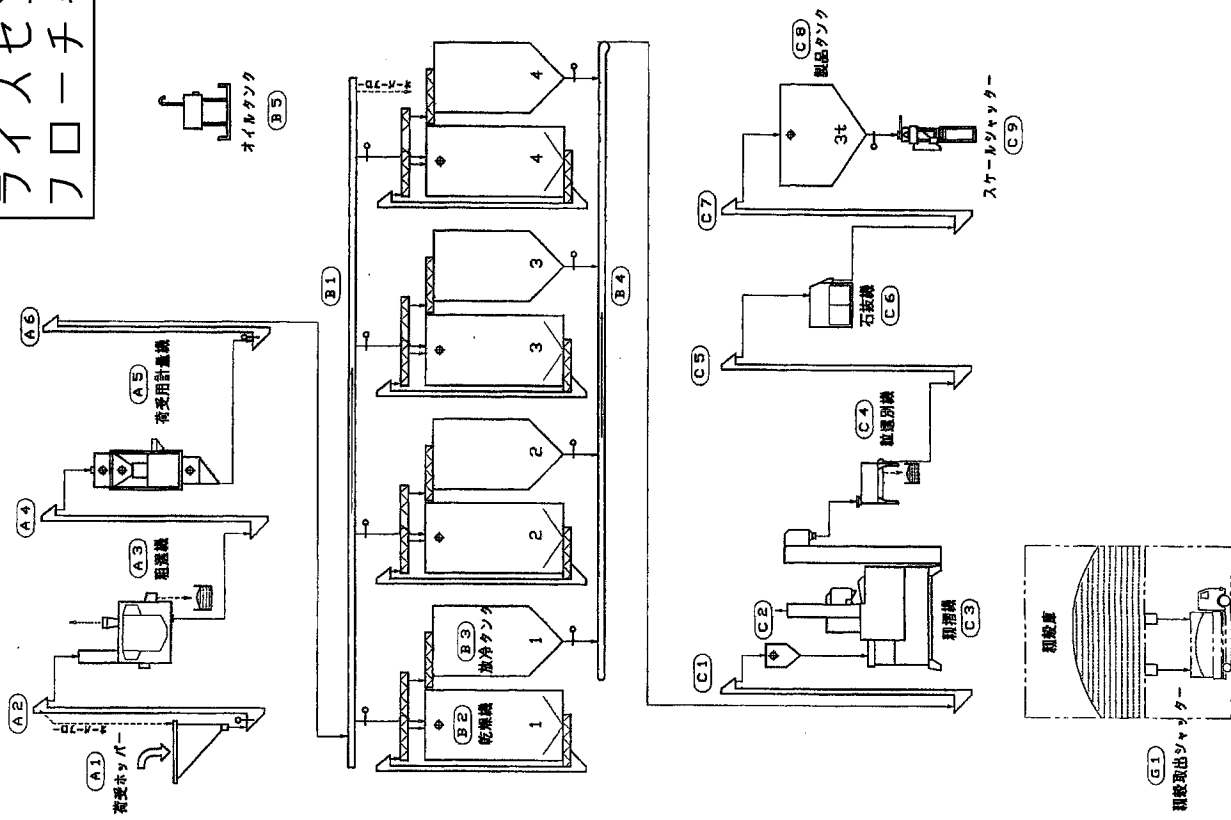
※軽トラック1台当たりの占有面積 $3\text{m} \times 5\text{m} = 15 \text{ m}^2$

ライスセクター一般図 S=1/150



ライスセクター仕様表 フローチャート

品番	名称	規格	数量	動力 (KW)	備	考
A 荷受設備						
1	荷受ホッパー	GH-10C	1	—	容量1t	
2	荷受用昇降機	BED7R x 6.815	1	0.75	7t/h	
3	粗選機	KS-70	1	2.2	7t/h	
4	荷受計量機用昇降機	BED7R x 4.989	1	0.4	7t/h	
5	荷受計量機	SO-60	1	—	7t/h	
6	取出用昇降機	BED7R x 9.841	1	1.5	7t/h	
B 乾燥設備						
1	環状コンベヤ	CC-15 x 8.700	1	0.75	7t/h	
2	乾燥機	KVD-400	4	1.921x4	処理量4t x 4基	
3	放冷タンク	RCT-400	4	0.4x4	容量4t x 4基	
4	排出コンベヤ	BC35M x 9.000	1	1.0	5t/h	
5	オイルタンク		1	—	480リットル	
C 粗選出荷設備						
1	流調昇降機	BE05R x 6.200	1	0.4	5t/h	
2	流調タンク		1	—	レベル計付	
3	粗選機 (5吋)	GPS5000S	1	3.86	昇降機延長	
4	粒選別機	A-60B	1	0.4	—	
5	中選昇降機	BE05R x 6.200	1	0.4	5t/h	
6	石抜機	KS-24	1	0.4	容量等リ	
7	製品昇降機	BE05R x 5.900	1	0.4	5t/h	
8	製品タンク	KTA-03S-01	1	—	容量3t	
9	スケールシヤッター	SB-50S	1	100V	—	
D 集排設備						
1	集塵ファン	CPF II-No.2 1/2	1	3.7	60m ³ /min	
2	粗排風ファン	APK II-30	1	0.4	30m ³ /min	
3	中選ファン	APK II-30	1	1.5	60m ³ /min	
4	コンアレーター	GPS-15T	1	1.5	—	
5	選式集塵装置	MN-190	1	0.5	190m ³ /min	
E 自主検査設備						
1	テスト乾燥機	TCD-100	2	0.96x2	100x2	
2	自主検査装置	SC-JA	1	100V	—	
3	水分計	PB-ID ₂	1	—	—	
4	水分計	FD-600	1	—	—	
5	ミニゲッブ	FCEK	1	—	—	
F 電気設備						
1	主操作盤		1	—	—	
2	粗選出荷操作盤		1	—	—	
G 粗選処理設備						
1	粗選排出シヤッター	トランク用	2	—	—	



電力総合計 31.264 Kw

7-4. ゆめのかけ橋

米本地区と島田地区を結ぶ橋として印旛放水路（新川）に橋長95mの橋梁（ゆめのかけ橋）を設け、より多くの人たちが米本・島田両地区を行きかい、相乗効果を生み出すよう計画する。さらに、島田側の中核施設へは車両が直接進入することが構造及び法令上困難なことから、人道橋としてのみでなく「車道+歩道」の橋梁とする案も検討する。以下に①人道橋とした場合と②「車道+歩道」にした場合、及びそれぞれの案について通常の桁橋にした場合と景観に配慮した斜張橋にした場合の概算工事費を示す。

①人道橋とした場合

幅員3.0m：橋面積 $3.0\text{m} \times 95.0\text{m} = 285.0\text{m}^2$

・桁橋（鋼床版桁橋を想定）

上部工：	$285.0\text{m}^2 \times 400\text{千円}/\text{m}^2$	= 114,000千円
下部工：		
逆T式橋台	$3.0\text{m} \times 2 \times 2,500\text{千円}/\text{m}$	= 15,000千円
杭基礎工	杭長30m/本 $\times 15\text{本} \times 2 \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 27,000千円
	計	156,000千円

・斜張橋

上部工：	$285.0\text{m}^2 \times 500\text{千円}/\text{m}^2$	= 142,500千円
下部工：		
逆T式橋台	$3.0\text{m} \times 2,500\text{千円}/\text{m} \times 2$	= 15,000千円
橋脚	$3.0\text{m} \times 13,000\text{千円}/\text{m}$	= 39,000千円
杭基礎工	杭長30m/本 $\times 15\text{本} \times 2 \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 27,000千円
	杭長30m/本 $\times 30\text{本} \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 27,000千円
	計	250,500千円

②「車道+歩道」とした場合

車道幅員6.0m+歩道幅員2.0m=総幅員8.0m：橋面積 $8.0\text{m} \times 95.0\text{m} = 760.0\text{m}^2$

・桁橋（鋼床版桁橋を想定）

上部工：	$760.0\text{m}^2 \times 500\text{千円}/\text{m}^2$	= 380,000千円
下部工：		
逆T式橋台	$8.0\text{m} \times 2 \times 2,500\text{千円}/\text{m}$	= 40,000千円
杭基礎工	杭長30m/本 $\times 20\text{本} \times 2 \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 36,000千円
	計	456,000千円

・斜張橋

上部工：	$760.0\text{m}^2 \times 600\text{千円}/\text{m}^2$	= 456,000千円
下部工：		
逆T式橋台	$8.0\text{m} \times 2,500\text{千円}/\text{m} \times 2$	= 40,000千円
橋脚	$8.0\text{m} \times 12,000\text{千円}/\text{m}$	= 96,000千円
杭基礎工	杭長30m/本 $\times 20\text{本} \times 2 \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 36,000千円
	杭長30m/本 $\times 30\text{本} \times 30\text{千円}/\text{m}$	= 27,000千円
	計	655,000千円